

みやぎハイスクール通信

第6号

発行日：令和5年10月31日

発行者：宮城県教育庁高校教育課

<https://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyou/gak-mailmaga-bknum.html>

県立高校の旬な情報をお届けします。マナーアップ通信、部活動やボランティア活動など、各高校の特色ある取組、学校紹介、コラム、お知らせなど、魅力的な取組に関する情報が満載です。

中学生の皆さんの進路選択に、ぜひ御活用ください。

10月号の目次

1 マナーアップ

- (1) 仙台第三高校 (2) 富谷高校 (3) 古川工業高校 (4) 田尻さくら高校

2 特色ある取組

- (1) 白石高校七ヶ宿校 (2) 蔵王高校 (3) 名取高校 (4) 松島高校
(5) 岩出山高校 (6) 加美農業高校 (7) 登米総合産業高校 (8) 迫桜高校
(9) 石巻工業高校 (10) 第二工業高校

3 学校紹介

- (1) 白石工業高校 (2) 柴田高校 (3) 角田高校 (4) 仙台三桜高校
(5) 泉高校 (6) 古川高校 (7) 古川黎明高校

4 コラム

- (1) 佐沼高校

5 お知らせ

- (1) 宮城野高校 (2) 一迫商業高校

1 マナーアップ

(1) 仙台第三高校

<三高マナーアップ運動>

本校のマナーアップ運動は、交通安全委員会・生徒会が中心に活動しています。本校では自転車通学者が多い学校のため、これらの活動はとても重要です。

今年度は、4月の交通安全立ち番指導から始まり、様々な活動を行いました。そのひとつ、“春の交通安全県民総ぐるみ運動出発式”への参加です。実際に制服を着用させていただき、式典に参加しました。高校生という立場から、ヘルメット着用や車の安全運転、自転車利用マナーについて交通安全宣言をさせていただきました。改めて、自分たちのマナーや地域の交通安全に対する意識を考えさせられる機会となりました。また、この活動から発展して、仙台東署の方々とヘルメット着用運動を合同で行いました。より安全な自転車走行となるようヘルメット着用を促すリーフレットを配り、呼びかけをしました。

例年行っている活動としては、4月に職員と交通安全委員会の生徒による朝の交通安全登校指導があります。この活動はPTAや地域の交通安全協会の方のご協力のもと、合同で実施することもあります。地域の方々と交流することもできるため、とても大切な活動です。さらに、本校では毎年“みやぎ高校生サイクルサミット”へ参加しています。県内の高校生と情報交換や意見交換を行い、交通安全の啓発に向けたアイデアを出し合い、高校生の自転車マナーがよりよいものになるよう活動しています。そのほか、交通安全講話や三高ロードマップの作成など様々な活動を通してマナーアップ運動を進めています。今後も定期的な活動と、他校や地域と情報共有を続けながらマナー向上に努めていきたいと思っております。



1 春の交通安全県民総ぐるみ運動出発式



2 自転車ヘルメット着用運動 (仙台東署合同)



3 朝の交通安全登校指導

<学校のホームページはこちらです>

<https://sensan.myswan.ed.jp/>

(2) 富谷高校

<マナーアップ強化日 ~毎月15日~>

富谷高校は、自転車通学の生徒が約8割を占めており、定期的に正門及び東西門で交通安全指導を行っています。その中でも毎月15日は「マナーアップ強化日」として、生徒指導部や生活委員会が中心となって登校する生徒への声かけを行っています。

今年度の「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」では、9月21日（木）に本校前交差点で富谷市長をはじめ、市役所職員や黒川地区交通安全協会成田支部のみなさんとともに街頭指導を行いました。また、9月25日（月）には本校教職員とPTA役員が参加し、国道4号線富ヶ丘交差点での街頭交通安全広報活動を、地域の皆さんと協力して行いました。

こうした地域と連携した取組を通して、生徒たちの交通マナーの向上を図るとともに、地域の一員として社会に貢献できる人材を育てていきます。



<学校のホームページはこちらです>
<https://tomiya-h.myswan.ed.jp/>

(3) 古川工業高校

<マナーアップ運動>

本校では、各クラスより選出された合計12名の生活安全委員が定期的にマナーアップ運動を行っています。通学路において、登校時の本校生に交通ルールの遵守やマナー向上を呼びかけます。また、元気で爽やかな挨拶を心がけており、地域の方々からは好評をいただいております。

昨年度は、マナーアップ運動の日を10回設け、学校周辺の通学時のマナーを生活安全委員でチェックしました。特に、自転車の横並び走行や、スマートフォン使用等の「ながら自転車運転」をしないように声掛けをしました。今年度も10回のマナーアップ運動を予定しています。徐々に増えてきている「自転車用ヘルメット」着用の拡大を目標として、声かけしていきたいです。

本校生徒の多くが自転車で通学しています。自転車通学者には、防犯登録、点検整備、保険加入を義務付けており、事故や盗難に備えています。交通ルールの遵守やマナー向上と合わせて、徹底していきたいです。



<学校のホームページはこちらです>
<https://furukk-h.myswan.ed.jp/>

(4) 田尻さくら高校

<地域連携ボランティア活動>

9月2日(土)、本校を会場として開催された「ケアブレンドカフェ」(NPO法人ケアブレンド主催)に本校生徒もボランティアとして参加しました。地域の事業所の方、高校生、大学生と協力しながら、こども達の遊べるイベントの運営を支えることで、多職種多世代多国籍の居場所づくりに貢献するとともに、自分自身も世代を超えた交流を体験することができました。

本校ではボランティア活動を推奨しております。地域の様々な方から活動の場を紹介していただいているので、今回のような地域連携・多世代交流型のイベント等に参加して活躍するチャンスが多くあります。また、本校ではボランティア活動を単位として認定する制度を整えておりますので、本校に興味のある方は、入学後はぜひ積極的なボランティア活動に取り組んでみましょう。



<学校のホームページはこちらです>

[https:// tajiri-hs.myswan.ed.jp/](https://tajiri-hs.myswan.ed.jp/)

2 特色ある取組

(1) 白石高校七ヶ宿校

＜「わらじで歩こう七ヶ宿」真夏の11kmを踏破＞

「わらじで歩こう七ヶ宿」は、七ヶ宿町主催のウォーキングイベントです。その昔、大名や商人によって親しまれていた「山中七ヶ宿街道」を舞台に、約11kmの道のりをのんびり歩きます。フルーツや漬物、甘酒やイワナの塩焼きといった自然の恵みを味わいながら、のどかな景色のなかで、地元の方々の優しさに触れられる七ヶ宿の人気行事です。

夏休み明けの8月27日（日）、七校生はボランティア組とウォーキング組に分かれてこの行事に全校参加しました。当日は30度を超える暑さの中、通り雨に降られるようなハプニングもありつつ、一般の参加者とあわせて老若男女総勢460名の参加者が気持ちのよい汗を流しました。中には時代衣装のコスプレをしたり、実際にわらじを履いて歩いたりという粋な参加者も。

参加した七校生は、3時間～4時間をかけて、見事全員完歩を達成！普段、運動不足気味の生徒にとっては、なかなかタフな道のりでしたが、仲間がいることで乗り越えられた達成感はひとしおだったようです。地域の魅力を肌で感じた生徒たちからは、「すごく楽しかった」「また来年も歩きたい」という声があがっていました。



＜学校のホームページはこちらです＞

<https://sitika.myswan.ed.jp/>

(2) 蔵王高校

<ZAP（蔵王あすなろプロジェクト）>

本校では、総合的な探究の時間をZAP（蔵王あすなろプロジェクト）と名付け、学校活動と社会とを有機的に結びつけた地域密着型の課題解決プログラムとして実施しています。蔵王町のジオパーク推進室と連携して、外部の方を招いてのジオツアーの実施、地元で活躍している社会人を招いての地域学習や近隣施設でのボランティア活動等をとおして、教室の中の学びがどのように社会とつながっており、自分はどのような社会人になりたいのか、という具体像を描くことができます。学習発表会は蔵王町ございんホールを貸し切り、町役場の職員の方々だけではなく、地域住民の方、保護者や同窓生などが多数訪れる中、日々の学習の成果を生徒が発表します。

地域に根ざした開かれた学校を目指し、蔵王高校生はいつも生き生きと活動しています。



※写真は一昨年度の学習発表会のものです。

<学校のホームページはこちらです>

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

(3) 名取高校

〈色彩・パーソナルカラー講座〉

8月24日（木）に家政科2年生36名を対象として、「色彩・パーソナルカラー講座」が行われました。NPO法人日本パーソナルカラー協会本部講師の佐藤博美先生を外部講師としてお招きし、色の種類や構成、自分に似合う色、見せたい自分を演出する方法について興味深く学ぶことができました。代表生徒によるパーソナルカラー診断の実践では、その人に似合う色が顔色をパッと明るくさせる効果があることを目の当たりにし、私服を購入する際の参考となるだけでなく、来年度のドレス製作に確実に活かすことができると感じました。また、私たちの生活の様々な場面に存在する「色」について、効果的に使用方法を考えるきっかけとなりました。



〈学校のホームページはこちらです〉
<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

(4) 松島高校

<社会人模擬面接>

9月6日(水)～12日(火)にかけて3学年の就職希望者向けに社会人模擬面接を実施しました。社会人模擬面接は、町内外事業所の人事担当者や経営者の方に面接をしていただき、9月16日(土)から始まる就職試験に自信を持って挑んでもらうことを目的としています。特に今年度は、パシフィックゴルフマネージメント株式会社、株式会社サン・ベンディング東北、株式会社銀座、医療法人社団 清山会、株式会社カネサ藤原屋など実際に生徒が受験する企業を始め、町内外計13社とハローワーク塩釜の御協力をいただきました。参加した生徒は7月から準備をしてきましたが、模擬面接では、かなり緊張した様子でした。面接官の方からアドバイスをいただき、就職試験に向けてこれから取り組まなければならない改善点を把握することができました。

<壮行式>

9月13日(水)に就職試験、AO入試、総合型選抜入試を控えた3学年の壮行式が体育館で行われました。教頭先生や学年主任、進路指導部長による激励の後に各クラス代表生徒による宣誓が行われ、本格的に始まる試験に向けて気持ちを高めることができました。



<学校のホームページはこちらです>

<https://matsushima-h.myswan.ed.jp/>

(5) 岩出山高校

<政宗公まつりに参加しました！>



9月10日（日）に岩出山地域にて「第60回政宗公まつり」が開催され、岩高生全員で参加しました。竹法螺演奏や弓道部が若武者隊に扮して町を練り歩いたり、給水の補助など裏方としても活躍し、まつりを盛り上げました。

左写真の「牛鬼」は愛媛県宇和島市から伝わったもので、大勢の生徒達で担ぎ上げ大きく首を振るたびに沿道の観客の方がとても喜んでくださいました。暑さ収まらぬ中ではありましたが、皆さんに喜んでいただけて生徒達は達成感と充実感を得ることができました。

岩出山高等学校は、今後もこのような地域貢献活動を通じて、本校の魅力発信や学校生活の充実を目指していきたいと考えております。

<学校のホームページはこちらです>

<https://iwadeyama-h.myswan.ed.jp/>

(6) 加美農業高校

<加美農ならではの部活動とは>

本校には農業科、農業機械科、生活技術科という農業の専門学科が3つあり、その専門性をいかした食農科学部、コンピュータ部、家庭技術研究部という部活動があります。

食農科学部は牛の世話や酪農教育ファームとして地域の子どもたちへの食育活動に取り組んでいます。コンピュータ部では自分たちで自動車を作り、燃費を競う大会に出場しています。家庭技術研究部は大崎地区総合文化祭などでの展示発表に向けた作品づくりや調理、裁縫などの小物づくりをしています。他にも、本校を代表する部活動には相撲部があり、今年度の県新人大会では13年ぶりに団体が優勝しました。これ以外にも多くの部活動があります。みなさんも加美農独自の部活動に入部してみませんか。



食農科学部



コンピュータ部



家庭技術研究部

学校のウェブサイトでは生徒の学習や部活動の様子を公開しています。

ぜひ、御覧ください。

<学校のホームページはこちらです>

<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>

(7) 登米総合産業高校

<本校、進路学習の取組>

9月14日(木)に、第3学年の生徒を対象に就職・進学出陣式を実施しました。これは、就職・進学の試験を目前に控えている生徒を激励し、進路決定に向けての決意を共有して意識を高めることなどを目的としています。式の中では、校長先生の「激励の言葉」として、採用内定・進学合格に向けてもつべき3つの心構えなどのメッセージが送られました。



また、10月下旬と11月上旬の2回に分けて、第2学年の生徒が登米市内の事業所の協力をいただき、3日間のインターンシップ(就業体験学習)を実施します。これまで第2学年では、地域の各分野における先進的な知識や技術をもった方からの講話を実施してきました。今回は、インターンシップ(就業体験学習)を実施することで、実習先の会社の具体的な仕事の内容等を知り、専門分野における知識や技術に触れ、卒業後の職業生活、社会生活に必要な知識、技術・技能の習得への理解や関心などを高めることを目的としています。

本校は生徒に望ましい職業観・勤労観を身に付け、地域の産業と未来を担う若者の育成に力を入れています。

その他、各学科や部活動等の学習及び活動状況を、学校のホームページに掲載していますのでぜひ御覧ください。

<学校のホームページはこちらです>

[https:// tomesou.myswan.ed.jp/](https://tomesou.myswan.ed.jp/)

(8) 迫桜高校

<産業社会と人間>

<ドリカムプラン発表会>

「産業社会と人間」は、総合学科の学校設定教科に関する科目です。通称“産社”と言われ、1年次の前期に週4時間行われます。

産社は、生徒一人一人が将来の夢の実現のために「今、必要な力をつける」ことを重視した実践的な学習の時間です。『自分史作成』、『科目選択』、『職業人講話』など、実際に見たり聞いたり、友達と話し合ったりしながら自分自身の生き方を考え、「自分の夢の実現」のために何をすれば良いのか具体的な計画を立てます。計画を立てる中で迷いや悩みを抱えることもあるかもしれませんが、それを自分の力で解決していくことが産社を学ぶ意味でもあります。

産社の最後には、自分の夢の実現に向けた設計図を「ドリカムプラン」として仕上げます。

9月14日(木)に、その仕上げたプランの発表会が行われました。代表者の発表を真剣に聞き、メモを取りながら自分のプランとの比較を行う姿が見られました(写真は、ドリカムプラン発表会の様子です)。



<学校のホームページはこちらです>

[https:// hakuou.myswan.ed.jp/](https://hakuou.myswan.ed.jp/)

(9) 石巻工業高校

<特色のある取組 ～高校でも遠足をします～>

新たに出会った石巻工業の仲間との絆を深め、お互いを知ることで高校生活の良いスタートを切るために、石巻工業高校では学年行事（遠足）を実施しています。

今年の1年生は岩手県の中尊寺に行ってきました。天候にも恵まれ、知っているようで知らなかった中尊寺の説明をガイドさんに教えていただき、新たな発見を共有することもできました。

昼食後は自由散策の時間です。お土産屋さんを訪れたり、ソフトクリームを食べたりするなど笑顔で楽しい1日を過ごすことができました。

実はこの遠足は、2、3年生でも実施しています。2年生は松島方面へ、3年生は八木山動物公園へそれぞれ行ってきました。級友の新たな一面を知ることができ、コロナ禍で中学校時代にはできなかった体験をすることができました。

皆さんも石巻工業で、充実した学校生活を送りませんか。



<学校のホームページはこちらです>

<https://ishiko.myswan.ed.jp/>

(10) 第二工業高校

<資格取得にチャレンジ！>

宮城県第二工業高校（宮二工）は、「電子機械科」と「電気科」の2学科からなる夜間定時制工業高校です。両学科とも、専門科目の勉強や実習を中心に学び、さらに様々な資格取得を推奨しており、多くの生徒が卒業までに複数の資格を取得しています。

電気科は経済産業省から電気工事士養成施設の指定を受けています。これは、国家試験を受験しなくても、本校の養成講座を修了することで卒業時に「第二種電気工事士」の資格を取得できる制度です。養成講座の修了には通常の授業時間以外に決められた時間の実習を行うことが必要になるため、放課後や長期休業期間などを利用して計画的に養成講座を実施しています。また、電気工事士の国家試験の受験希望者には、筆記・実技において、教員が丁寧でわかりやすい指導を重ね抜群の合格実績をあげています。

7月下旬には「クラフトマン21事業」によるものづくり実践支援として、平間電設（株）（白石市）代表取締役の平間常吉様より4日間にわたる実技指導をしていただきました。この講座で電気工事の実践的な技術や作業上のポイントなどについて直接学ぶことができ、受講した生徒は意欲的かつ真剣に取り組むことができました。専門性を生かした就職や資格取得に挑戦したいと思う中学生の皆さんは、ぜひ宮二工への進学を考えてみてください。

なお、中学生を対象とした「学校見学会」を11月14日（火）に開催します。こちらぜひ参加してみてください！



<学校のホームページはこちらです>

<https://m2k.myswan.ed.jp/>

3 学校紹介

(1) 白石工業高校

<ソフトボール部紹介>

2021年に開催された東京オリンピックでは、女子ソフトボールが金メダルを獲得しました。白石工業高校ソフトボール部は県内でも珍しい「男子」ソフトボール部です。野球とは異なる投法はもちろん、スピーディーな試合展開と男子ならではの力強さが魅力です。1球1球見逃せない展開で、他の競技にはない面白さがあります。



2023年3月には長崎県大村市で開催された全国選抜大会に出場し、3年連続全国ベスト16となりました。また、2023年6月の県総体優勝により、8月に北海道石狩市で開催されたインターハイにも出場しました。延長8回タイブレークの末、惜しくも5-6で敗れましたが、全国の舞台で選手は躍動しました。これも保護者や地域の方々、OBや学校関係者の方々をはじめ、多くの御支援と御協力のおかげです。感謝の気持ちを持って、先輩方から受け継いだバトンを懸命につないでいきます。全部員が高校からソフトボールを始めたチームですが、新チームは「自主・継続・徹底」をモットーに日々努力しています。皆さんも全国の舞台への挑戦権を、一緒に目指してみませんか？

<学校のホームページはこちらです>

<https://shiroishi-kougyou.myswan.ed.jp/>

(2) 柴田高校

<柴高祭2023開催>

「笑顔輝け！

青春 Festival～忘れられない一瞬を～」

9月1日（金）、2日（土）に、文化祭が開催されました。

今年度は「笑顔輝け！青春 Festival～忘れられない一瞬を～」と題し、酷暑が続く中でも、笑顔あふれる文化祭にしていこうという意気込みで準備を進めてきました。

当日は、吹奏楽部、軽音楽部の演奏や、有志によるダンスの発表、カラオケ大会、部活動・クラスによる出し物もあり、一層盛り上がりました。LHR や放課後の時間を使って準備を進め、各団体の結束力が強まったと感じます。

また、今年は4年ぶりに規制なしの一般公開を行うことができました。今年度入学した1年生はもちろん、新型コロナウイルスの影響で行事の規制に悩まされた2、3年生にとって「忘れられない一瞬」として胸に刻まれたことと思います。御来校いただいた皆様、ありがとうございました。

学校生活の様子は随時HPでもお知らせしていきます。どうぞ御覧ください。



<学校のホームページはこちらです>

<https://sibata.myswan.ed.jp/>

(3) 角田高校

<「角高夢 Project」進行中！>

角田高校の総合的な探究の時間「角高夢 Project」は、角高生の夢（自分の進路、やりたいこと）を叶えることや、角高生が夢を叶えるための過程で地域社会との関わりを深め、地域社会を元気づけてほしいという思いから名付けられました。

1年次では、現在グループで探究テーマを設定し、探究をさらに深めていくための活動を行っています。先日の総合的な探究の時間では、各グループで探究テーマを練り直し、探究の進め方について検討しました。

2年次では、生徒一人ひとりが将来を見つめ、自分の興味関心や探究したいテーマを掘り下げています。新たな研究の糸口の発掘に向け、仮説を立て、近隣地区から仙台圏まで範囲を広げた調査活動を行いました。

どちらも最終的にはその成果をまとめ、発表します。生徒一人ひとりが自己の課題や地域の課題等を意識し、課題解決や自身の夢の実現に向けて意欲的に取り組んでいきます。



<学校のホームページはこちらです>

<https://kakuko.myswan.ed.jp/>

(4) 仙台三桜高校

〈令和5年度 三桜祭 開催される〉

9月1日(金)、2日(土)に令和5年度 三桜祭が本校を会場に実施されました。

今年のテーマは「三桜の子 ～文化祭はとびきりの愛なんだよ?～」でした。9月2日(土)の一般公開は、4年ぶりに制限を設けない形で開催するというのもあって、生徒一同張り切って準備をしていました。また、今年は3年生クラス単位以外の有志団体参加を認めたことに伴って、1、2年各2クラス、運動部1団体が有志参加をして大いに三桜祭を盛り上げてくれました。文化部もこれまでの活動の成果を在校生や外部の方々に紹介しようと夏休み前から、計画を練り、入念に準備をして当日を迎えていました。そのかいがあって来校して頂いた方々からは、文化部の展示について多くのお褒めの言葉を頂きました。有志参加団体は恒例となったコスプレに身を包んで、お化け屋敷・カフェ・縁日などそれぞれの場所でパフォーマンスを発揮していました。生徒達の感想には、制限がなくなって思いっきり楽しめたとの書き込みが多数ありました。また、1、2年生からは、来年は自分たちも有志参加をしてみたいとの声が多数上がっていました。

【三桜祭を終えた生徒の感想】

・3年実行副委員長(女子)

9月初め仙台三桜高校では文化祭である「三桜祭」が開催されました。4年ぶりの制限を伴わない一般公開だったため、例年より多くの模擬店で賑わい、大勢の方に来校して頂きました。

一般公開に加えて、今年は実行委員企画、「ミス・ミスターコンテスト」が行われました。昨年まではジェンダーレスの観点からこのようなコンクールは行いませんでしたが、性別にかかわらず、それぞれの出で立ちでミスコンテストやミスターコンテストにエントリーできることにして開催しました。出場者は本気でミス・ミスターに挑む者、あえて奇抜なコスチュームや化粧でみんなをわかせる者などがいて楽しい企画になりました。

文化祭のテーマやポスター画の募集を5月頃から初めて、三桜祭が終わるまでにはいろいろな苦労がありました。実行委員として携わったこの三桜祭はすごく思い出に残りました。



・有志団体実行委員（1年女子）

1年4組は、「カジノ」と銘打って5個のゲームを自由に遊び、コインを増やしていく模擬カジノを企画・運営しました。

内装や外装などクラスのみんなのアイデアがたくさん詰まったお店に二日間とも予想を上回るたくさんのお客さんに来ていただき大変驚いたと同時にとても嬉しい思いが込み上げてきました。

準備の時間も含め、この三桜祭を通してクラスの仲をより深めることができましたと思います。

<学校のホームページはこちらです>

<https://sen3o-h.myswan.ed.jp/>

(5) 泉高校

<体育祭>

9月28日(木)、29日(金)の2日間にわたり、本校の3大行事のうちの最後の行事である体育祭が開催されました。昨年度までは球技大会として行われていましたが、新たに体育祭として生まれ変わりました。生徒たちは2日間にわたり、クラス対抗で、サッカー、バスケ、バレー、ソフトボール等の球技、そして今回から追加された綱引きとリレー競技に分かれて、屋内外で熱戦が繰り広げられました。

クラスごとに作成したカラフルで様々なデザインのユニフォームを着ることによって、クラスが一致団結して試合に臨むことができました。また、自分たちの試合がない時には、クラスメイトを一生懸命に応援するなど、クラスの絆がさらに深まったように感じます。勝ち負けにかかわらず、試合後のすべて出し切った清々しさがとても印象的でした。



<学校のホームページはこちらです>

<https://izumihigh.myswan.ed.jp/>

(6) 古川高校

<「古高の祭り」と部活動>

ここ3年、コロナ禍の中で大幅に縮小されてしまった古高祭。今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受けて、思い切ってコロナ禍以前の、「本来の古高祭」を、完全無制限で実施しました。しかし、すでにコロナ禍以前を知る高校生はおらず、1つ1つ模索しながらの古高祭となりました。多くの試行錯誤を繰り返しながら、一般公開当日は大変な数のお客さんに圧倒されながらも、大いに古高生パワーを大爆発させました。

今年度の古高祭では、昨年度に引き続き全校モザイクアート製作や古高祭オリジナルグッズの販売などを実施しました。ステージ発表の「クラスパフォーマンス」では昨年多かった「動画の部」を全廃し、参加者全員が全校生徒の前で生パフォーマンスを披露し、大変な盛り上がりとなりました。実行委員は例年通り当日まで大忙しでしたが、「コロナ禍以前」を目指しながらも全く新しい形式の「全員参加型古高祭」を完成させることができました。次年度の古高祭実行委員会もすでに動きつつあり、生徒が創り上げる盛大なお祭りは今後も勢いを増していきそうです。

コロナ禍でも今年度の古高は、県総体や上部大会において活躍することができました。

山岳部は平成29年以来の最優秀校、ソフトボール部男子は、残念ながらインターハイは逃してしまいましたが、県で準優勝し、東北大会では大いに活躍することができました。陸上競技部は男子のリレー、女子の投てきや七種競技で東北大会出場という結果を残しました。さらに個人では剣道部岩淵俊哉君がベスト8に入賞し、東北大会に出場しました。また剣道部女子では、2年の櫻井凜乃さんが国体予選会で4位入賞して宮城県代表選手に選ばれ、岩手県で開催された東北総体では宮城県の副将として出場しました。現在は、各運動部が地区新人大会、県新人大会での入賞を目指し、日々活動に励んでいるところです。

文化部も健闘していて、合唱部が県のコンクールで金賞、吹奏楽部が銀賞をそれぞれ受賞しました。

<学校のホームページはこちらです>

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

(7) 古川黎明高校

< 県北地区屈指の学習環境が自慢です！ >

3年生の受験準備のための進路指導室は、進路相談室・資料閲覧室、そしてエアコン完備の自習室があります。総合型選抜・推薦入試対策の小論文添削指導や面接指導、入試科目の過去問分析など、充実した設備・資料が開放され、昼休み・放課後は満席状態で、進路意識の高い生徒の熱気が感じられます。

年4回の定期考査期間中（考査1週間前から部活動停止）に、職員室前に現れるのが「黎明寺子屋」。学習内容の確認や質問する生徒で賑わいます。理解不足だったことを解決し、さらなる質問をぶつける。受動的学習から能動的学習へ、自分自身で脱皮をはかろうとする生徒が多く存在します。また、主体的学習が身に付いている生徒は、自習室で「黙勉」します。「黙々と勉強する姿勢」は波状効果となり、学校全体へ広がります。このほかにもこのような恵まれた学習環境が校内いたる所に存在することが本校の強みのひとつです。

高校生の本分である学業を大事にする態度は、行事への取り組みや部活動へ好影響をもたらし、有意義で楽しい高校生活を作り上げます。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://freimei-h.myswan.ed.jp/>

4 コラム

(1) 佐沼高校

<「地域を支える」「世界とつながる」>

佐沼高校は創立121年の歴史を持つ伝統校で、これまで地域を支える多くの人材を輩出してきました。前・現登米市長、ウジエスーパー社長は同窓生で、七十七銀行頭取をされた方もいます。そのほか、岩手・宮城県職員、宮城県警察官、登米・栗原市役所職員などの公務員として、また地域の医療機関、民間企業・事業所の一員として、地域の行政、医療・福祉、経済活動等に尽力されている方々が多数おられます。近年の卒業生の進路先としても地元で働くことを選ぶ生徒が少なからずいます。

高校卒業後すぐに働く生徒にしろ、進学後に地元で働きたいと思う生徒にしろ、地域の現状と課題を知ることは重要であると考え、総合的な探究の時間を中心に、地域の課題から世界共通の課題解決に向けた探究活動を進めています。直接地域を支えることの大切さは変わりませんが、グローバル化、情報化が一層進む現代社会では、間接的に地域と関わり、支えていくことも可能です。地域への視点を持ちつつ、地域と世界をつなぎ、世界で活躍する人材の育成に取り組んでいます。

<学校のホームページはこちらです>

<https://sanuma.myswan.ed.jp/>

5 お知らせ

(1) 宮城野高校

<宮城野高等学校第27回卒業制作展>

美術科と総合学科美術系列に所属する生徒は「美術」という分野の学びに特化し、3年間という短い期間で感性を磨き、知識や技術の向上に取り組んでいます。この卒業制作展はその学びの集大成として毎年11月に開催しています。

今年のテーマは「BOUQUET」ブーケです。

「BOUQUET」とは、一輪の花を自分自身や作品として捉えて、お世話になった皆さんへ感謝の気持ちを贈るというメッセージが込められています。内容は洋画・日本画・彫刻・クラフトデザイン・ビジュアルデザインの5つの専攻から36名の個性あふれる作品展示を行います。合わせて美術科1・2年次の授業作品も展示します。

この卒業制作展は11月7日(火)～12日(日)の間、午前10時から午後6時まで(最終日は午後5時まで)仙台市宮城野区文化センターで開催します。入場無料です。



<学校のホームページはこちらです>

<https://miyagino.myswan.ed.jp/>

(2) 一迫商業高校

<販売実習「きてけさいん」 in 一迫あやめの里>

今年度も3年生の販売実習「きてけさいん」を実施します。本校で平成17年度より取り組んでいる栗原版デュアルシステムでは、3年生が「企業実習・起業家研究・販売実習」の3つの班に分かれ、地域と連携して地域活性化に取り組んでいます。その中の一つである「販売実習」は、消費者の求めている商品やサービスを調査し、商品の仕入れ・販売・広告作成・会計処理の全てを生徒が実際に行う学習です。商業高校ならではの楽しい販売実習ですので、お客様として御来場いただき学習活動に御協力をお願いします。

今年度は、北海道・東北で評判となった美味しい「グルメ」を仕入れていきます。

【今年度の販売商品】

《北海道》、《岩手県》、
《福島県》、《秋田県》、
《青森県》、《山形県》
各地の美味しいものを取り揃えて
おります。



【今年度の実施日時】

- ① 「一迫あやめの里」会場 ※どちらも午後2時開始
1回目 10月27日(金)
2回目 11月24日(金)
- ② いちはさまハロウィンマルシェでも出店決定!
10月29日(日) 一迫総合支所にて午前10時開始となります。

【お知らせ】

- ◎ 本校は11月9日(木)に『創立50周年記念式典』を行います。
記念講演では、山崎武司氏(元東北楽天ゴールデンイーグルス)を講師にお招きします。

<学校のホームページはこちらです>

<https://ichisho.myswan.ed.jp/>